

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成26年10月9日 (2014.10.9)

【公開番号】特開2014-39490(P2014-39490A)
 【公開日】平成26年3月6日 (2014.3.6)
 【年通号数】公開・登録公報2014-012
 【出願番号】特願2012-182899(P2012-182899)
 【国際特許分類】

A 2 3 L 1/10 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/10 G

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月25日 (2014.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

炙り領域に配置され、搬送される寿司の具材表面を加熱して焼き目を入れる炙り手段を備えた寿司炙り装置において、

上記炙り手段は、

具材表面に相対する外周に開口を有した積分管と、

該積分管内に設けられ、少なくとも上記開口の長手方向と一致する長さで、印加される電流により赤外線を出力する赤外線ヒータと、

からなり、

寿司の具材表面に対し、赤外線ヒータから積分管の開口を介して出力される赤外線及び積分管内周面により反射して積分管の開口から出力される赤外線を照射して焼き目を形成する寿司炙り装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

赤外線ヒータは、主に近赤外線及び中波赤外線を出力する寿司炙り装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、

上記積分管内に圧縮空気を供給する送風部材を設け、

送風部材から供給される圧縮空気は、赤外線ヒータから出力される赤外線により加熱された積分管内の空気と共に開口から噴射されて具材表面に対する過熱を促進可能にした寿司炙り装置。

【請求項 4】

請求項 1 において、

積分管は、炙り領域に応じた軸線長さで、セラミックス材からなる寿司炙り装置。

【請求項 5】

請求項 1 において、

上部に具材が乗せられた寿司を所定の位置間にて搬送する搬送手段を備え、

該搬送手段は、少なくとも上記炙り領域幅以上の間隔をおいて配置された従動軸及び電動モータが連結された駆動軸にそれぞれ設けられたスプロケットに掛渡される無端網状の搬送体とした寿司炙り装置。

【請求項 6】

請求項 1 において、

上部に具材が乗せられた寿司を所定の位置間にて搬送する搬送手段を備え、

該搬送手段は、少なくとも上記炙り領域幅以上の外径で、中心部に電動モータが連結されて回転可能な円盤網状の搬送体とした寿司炙り装置。

【請求項 7】

請求項 1 において、

積分管は、搬送方向に軸線を有し、かつ少なくとも炙り領域幅の軸線長さからなると共に搬送手段に対向する外周に搬送方向へ延出する所要幅の開口を形成した寿司炙り装置。

【請求項 8】

請求項 1 において、

積分管は、搬送直交方向に軸線を有し、かつ少なくとも搬送手段の搬送直交方向幅の軸線長さからなると共に搬送手段に対向する外周に搬送直交方向へ延出する所要幅の開口を形成した寿司炙り装置。

【請求項 9】

炙り領域に配置され、搬送される寿司の具材表面を加熱して焼き目を入れる炙り手段を備えた寿司炙り装置において、

上記炙り手段は、

長手方向が搬送方向に一致し、かつ少なくとも具材の搬送方向長さで、印加される電流により赤外線を出力する赤外線ヒータと、

具材の表面に対し、赤外線ヒータから出力される赤外線を搬送直交方向に亘る幅で収斂する光学的レンズと、

からなり、

寿司の具材表面に対し、赤外線ヒータから出力される赤外線を照射して焼き目を形成する寿司炙り装置。

【請求項 10】

請求項 9 において、

上部に具材が乗せられた寿司を所定の位置間にて搬送する搬送手段を備え、

赤外線ヒータは、搬送手段に対向する外周に開口を有した積分管内に配置すると共に上記光学的レンズは、上記積分管における開口の外側に配置した寿司炙り装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、炙り領域に配置され、搬送される寿司の具材表面を加熱して焼き目を入れる炙り手段を備えた寿司炙り装置において、上記炙り手段は、具材表面に相対する外周に開口を有した積分管と、該積分管内に設けられ、少なくとも上記開口の長手方向と一致する長さで、印加される電流により赤外線を出力する赤外線ヒータとからなり、寿司の具材表面に対し、赤外線ヒータから積分管の開口を介して出力される赤外線及び積分管内周面により反射して積分管の開口から出力される赤外線を照射して焼き目を形成することを最も主要な特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

寿司の具材表面に対し、赤外線ヒータから積分管の開口を介して出力される赤外線及び積

分管内周面により反射して積分管の開口から出力される赤外線照射して焼き目を形成することを最良の実施形態とする。